

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)	◎	衣料品専門店（店長）	・前年の3月初めぐらいから新型コロナウイルスの影響が始まっている。前年は入学式の中止や延期、この辺が販売に多大な影響を与えた。今年は前年ほど入学式の中止がなくて、簡素化したとしても実施するという事になれば、前年の景況感が一服してくるので、前年よりはという意味だが、少しずつ上がってくるのではないかとみている。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	・現状休業が続いているが、県独自の補助事業が再開されるので、感染予防対策を強化しながら対応していきたい。
	○	商店街（代表者）	・今後、雪が解け春の兆しが見えてくる。商品的にも冬物から春物に替わり、卒業、入学の需要も徐々に増えてくるので、後は天候の動向も見ながら皆で努力をしていくことにより良くなっていく。
	○	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスワクチン接種開始への期待感もあり、経済活動が活発化するものとみている。
	○	百貨店（経営者）	・気温の上昇やワクチン接種などにより新型コロナウイルスの感染者数が減少し始め、消費マインドも新年度に向けた晴れの需要とともに回復してくることに期待している。
	○	スーパー（経営者）	・2月以降の天候にもよるが、雪解けが進むことで来店頻度が上がり上向いてくるとみている。ただし、新型コロナウイルスの状況次第でもある。
	○	コンビニ（経営者）	・今が一番厳しいときなので良くはなるだろうが、先がみえない。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、気温の上昇とともに来客数の微増が見込まれる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・外的環境が変わらなければ、春先に向けての季節伸長が見込まれる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・春物が入荷して、そして新型コロナウイルスについて先が見えてくれば購買意欲も出てくる。
	○	衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言が終了し、各学校の入学式が開催されることになれば、スーツ需要が喚起され、景気は上向きになると予想される。
	○	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種が始まれば、消費が戻るとみている。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・春にかけて少し回復してくるとみているが、それでも例年と比べればかなりの減少が予想される。とにかく飲食業、観光業の回復に期待するしかない。
	○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・様々な感染対策の緩和やワクチン接種等により、今よりは移動需要が増えることを期待している。
	○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・前年は暖冬であったが、今年の寒さは例年どおりであるため、灯油の販売量が伸びている。新型コロナウイルスの影響による外出控えもあり、家庭内の消費が増えているようである。
	○	一般レストラン（経営者）	・今月と比べてということであれば、少し暖かくなるということと、新型コロナウイルス対策の時短要請などの効果が出て、今よりは状況が良くなることを期待している。
	○	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、ワクチン接種が進み、気候が暖かくなれば、少なくとも今よりは状況が良くなることを願いたい。
	○	旅行代理店（従業員）	・現在の緊急事態宣言及び自粛要請により、新型コロナウイルスの感染者数や入院者数が減少すること。さらに、ワクチン接種が始まること。Go To Travelキャンペーンが再開すること。それらを前提として旅行需要が増えることを期待している。
	○	通信会社（営業担当）	・転勤など引っ越しに伴い解約者も増える時期になる。一方で、コロナ禍の影響でWi-Fiなどインターネット環境の整備の重要度が増したため、若年層を中心に新規加入者増も見込んでいる。特にモバイルタイプのルーターなど、低価格の無線インターネットの需要が拡大すると予想している。
	○	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスも少し落ち着いていると思うので、緊急事態宣言が解除されれば動きも少し戻ってくるとみている。

○	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が進むことが条件となりそうだが、前年は花見を我慢した観光客が来場してくれることに期待している。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・書籍、楽器共にニーズを捉えたSNSの発信によって消費が動いている。全般的に天候不安や経済不安がそのまま消費マインドの低迷に反映していることは変わらないが、子供の教育、高齢化社会に向けての楽器の需要や、ニーズにマッチングしたものは引き続き動いていくとみている。
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・数か月後には卒業シーズンが待っており、例年は謝恩会や送別会等で宴会が多くみられる時期だが、客から一切そのような予約が入っていない現状を聞くと、このまま厳しい状況が続くとみている。雇用調整助成金の延長は決定したが、こうした助成金が打ち切られたときにどれほどの企業が残っていられるのかを考えると不安である。
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・寝具業界は新型コロナウイルスの影響がなくても厳しい状況が続いているのに、客先訪問も控えなければならない現在、新型コロナウイルスの終息がない限り厳しい状況が続く。
□	百貨店（営業担当）	・来客数は横ばいで推移しており、購買傾向にも大きな変化がない。感染拡大の影響もあるが、Go Toキャンペーンなどの喚起施策が必要である。
□	百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルスとの共存という現在の状況に皆が慣れつつあり、それなりに消費行動がみられるようになっている。今後の状況によっては更に上向きになることも考えられるが、飽くまでも今後の感染状況次第である。
□	スーパー（店長）	・来客数は減少しているが、単価がアップしている分、売上は何とかぎりぎりのところで維持している状態が続いている。一概に良いとはいえないこの状況はこれからも続くと思われる。
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染者数が増え来店頻度は下がっているが、客単価は上がっており、その分の売上の伸びはまだまだ続くともみている。
□	スーパー（企画担当）	・コロナ禍が続いているので2～3か月先も変わらない。食品スーパーに関しては内食需要があるので売上は良い状態が続いており、今後変わらないとみている。
□	スーパー（営業担当）	・前年にコロナ禍が始まり、商品需要の極端な増減があったため、その反動が懸念される。分類によっては大きなマイナスを計上する可能性もあるため、収益的にも不安定要素が多い。
□	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言のお陰で、新型コロナウイルス感染者数の減少が若干みられるようになってきたが、期待先行だけでは楽観視できないような状況である。ただ、ここ数か月、客単価や買上点数は前年同期と比較しても底堅くしっかりしているため、あとは人の動きだけが変動要因とみている。
□	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種ができるようになり、新型コロナウイルスが落ち着かない限りは、良くなっていかない。それまでは下がり続ける。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きいことには変わらない。
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症による影響は2021年度も続き、長期的になる。来客数の低下を客単価で補う形となるが、直近では売上を改善できる大きな変化要因はない。
□	衣料品専門店（経営者）	・今年は年度末の特需売上は見込めない。新型コロナウイルスのワクチン接種がどうなるか、具体的な動きが示されれば入出が多少増加し売上増にも結び付く。
□	衣料品専門店（経営者）	・春物新商品が入荷し客数アップの時期ではあるが、不要不急の外出控えは継続なので現状維持と予測する。
□	衣料品専門店（店長）	・必要に迫られて購入するもの以外で何か気分が明るく前向きになる要素、例えば東京オリンピックの開催などが見えてこない、消費が上がってくるようなことはない。
□	衣料品専門店（総務担当）	・緊急事態宣言の解除も不透明で、市場への来客数も減少している。また所得の減少により景気が改善する要素がない。
□	乗用車販売店（従業員）	・例年であれば1月は販売量、商談の数が一番多くなる時期にもかかわらず、余り件数が出てこない。
□	乗用車販売店（従業員）	・雪が解け、決算期になると現在より受注実績は伸びるが、半導体不足により新車生産台数に制限があり、在庫台数が減少すると売上も減少する。

□	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので決まったものを製造して、販売、取付け、納品をしている。今のところはさほど変わらないという状況である。
□	住関連専門店（経営者）	・当店の主な客層である高齢者の活動が活発になれば売上にも結びつく。新型コロナウイルスワクチン次第である。
□	その他専門店〔靴〕（従業員）	・地方でも毎日のように新型コロナウイルスの感染者が確認されている。この状況が収束しなければ、商業施設の客は増えてこない。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・大都市の緊急事態宣言がいつまで続くかによる。
□	タクシー運転手	・社会の流れがテレワークを推進している現状から、ビジネスマンのタクシー利用率が下降線をたどることは明らかである。高齢者においても感染が怖いので必要以外の外出を避けている。子供連れの家族はマイカーによる移動手段を選択しており、収入アップは見込めない。
□	通信会社（営業担当）	・景気が好転に向かうような材料に乏しい。
□	通信会社（営業担当）	・新プランが3月から始まり、客が今以上にネットに流れると予想される。
□	観光名所（職員）	・今後何らかの対策を打つことによって景気が変わるかどうか、という判断すら難しい状況である。Go Toキャンペーンでは一定の利益を得たが、まるでそれが悪いことのようにやり玉にあげられている国会の中継もあった。非常に頭が痛いところである。存続の危機というふうにとらえている。
□	遊園地（経営者）	・3月から新しいシーズンに入るが、現在の緊急事態宣言の動向を含めて、新型コロナウイルスの動向次第になるので、見通しが付かない。
□	競艇場（職員）	・リピーターの減少については、原因が分からないと手の打ちようがない。新規客の増加が見込めない以上、常連のみとなることから、景気は変わらないか悪くなる一方である。
□	住宅販売会社（経営者）	・近日中に新展示場がオープンするので、新規客及び契約見込み客が増加し、受注が拡大する見込みである。
□	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・感染症対策を施しながらの運営となるため、来場者数は前年と同等になることは難しく、現在と状況は変わらないとみている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種が一般に普及するまでは、外出を控え自粛する傾向が続き、消費が落ち込むとみている。
▲	商店街（代表者）	・地方であっても自主的に自粛しているので、このまま経済活動は停滞していく。
▲	商店街（代表者）	・雇用調整助成金の特例措置が終了すると更に悪化する。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・前年は新型コロナウイルスにより売上が大幅にアップした。しかし今年はまだまだ売れているが、前年のようにならないとみており、例年並み又は少し良い程度の前年比105%くらいを期待している。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ショッピングモールで閉店しているテナントを多く見掛ける。このような状況では、業種的にコロナ禍の悪影響を直接受けないといっても、全体的な需要減退の影響を受けないわけにはいなくなる。
▲	スーパー（経営者）	・2月は新型コロナウイルス感染対策の緊急事態宣言が出された地域以外でも外出自粛等の要請があり、来客数の前年割れが続く。事業継続が厳しい業種では雇用調整助成金や支援金などで何とか持ちこたえているが、仕事が激減し、従業員の可処分所得減は避けられない。年金生活者も将来不安への備えから、買い控え傾向が強くなるのではと危惧している。新型コロナウイルスワクチン接種の効果が出るまでにはかなりの期間を要するため、消費環境の厳しい状態はしばらく続くものとみている。
▲	スーパー（店長）	・安さの追求から利益が取り難い構図になりつつある。将来の収入に対する不安などが増加し、食費に対してはより安さを求める声が多くなってきているのではないかと懸念している。
▲	スーパー（営業担当）	・収入の減少などにより価格に敏感な傾向が更に強まる。各社低価格の方向に進み、特売を含めクーポン、特典などを強化しないと集客が難しくなると予測している。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染の拡大で夜夜間の客が減少している。この先良くなる要素がない。

▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で業績が悪い業界がはっきりしてきたようである。職を失った人もおり、一般市民の所得も低くなってきたようで、買い控えもみられるようになってきている。新型コロナウイルス感染の収束状況次第だが、3月一杯くらいまでは厳しいのではないかと予測している。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染が収束に向かわない限り、良くはならない。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で今後は景気が悪くなってくるとみている。客の買物マインドが低下し、高単価なものが売れにくくなっていくのではないかと予想している。
▲	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で東京オリンピックが開催されないとすれば、オリンピック需要は落ち込んでいく。また、新社会人、新大学生の1人暮らし需要も落ち込むとみている。落ち込みは避けられない。
▲	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足がニュースでも取り上げられている。車が販売店に届いて登録されたものが売上、収益となることを考えると長納期の心配が出てくる。今後どのような影響が出るかが問題である。長納期の影響が出ると新車販売の景気は悪くなっていくと考えられる。
▲	乗用車販売店（本部）	・例年、時期的に出現するはずの法人客の社用車入替えや、新卒者ニーズが現状顕在化してこない。初売り後というタイミングとはいえ、今後の商売に懸念が残る。
▲	自動車備品販売店（経営者）	・例年であれば、歓送迎会や各種総会など飲食を伴う各種会合が多くなる季節だが、今年は顔を合わせず書面で行われることが多くなるようである。関連業種は前年に続き相当なダメージを受けることが予想される。
▲	住関連専門店（経営者）	・2～3か月先についてはとりわけ好材料が見つからないため、現状のまま推移するのではないかとみている。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・首都圏の緊急事態宣言後、客足が落ちている。今後、新型コロナウイルスの感染状況に好転がみられない場合は、この傾向が続くとみられる。
▲	旅行代理店（従業員）	・3か月先の先行予約状況としては一般団体の旅行案件はいまだにゼロ状態であり、Go To Travelキャンペーンの全国一時停止が延長となれば、旅行業界の悪化に歯止めが掛からず、深刻な状況に陥ってしまう。
▲	タクシー運転手	・コロナ禍終息のめどが立っていない。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染防止と経済回復の両輪が片輪になっているため、更に景気が悪くなるとみている。農業漁業といった第一次産業の低迷により、五次、六次産業が少しずつ増えている気がする。税金に関わらない産業が増殖しているため景気が悪くなるとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・タクシー会社等から減車、廃業の話が再び聞こえてくる。
▲	通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言が当面続くと推測される。
▲	美容室（経営者）	・このところ前年比90%を保っていた既存客の再来店率が80%に下がってきている流れはそう急には変わらない。また、新型コロナウイルスの影響で、前年同様、卒業式の中止による予約客のキャンセルなども考えられるので非常に危惧している。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生から1年を経過してもなおこの状況では、先々に不安しかないので、景気の回復も見込めない。
▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は給湯機凍結による点検修理の問合せが急増しているので、今後、交換につながる可能性がある。リフォームは工事見積りの問合せが減っている。
×	商店街（代表者）	・現在、ほとんど乗客がなくなり消費が止まったような状態である。2～3か月先に新型コロナウイルスのワクチンの影響が出てくるかどうかであるが、実際は消費が低迷した状態が続くのではないかとみている。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・時短要請期間がまた伸びるかもしれないという不安要素がある。そして、これがもし解除されても、今の状態では通常の営業活動には戻らない。巣籠り生活にすっかり慣れきっており、街に出て楽しむという雰囲気にはなりにくいので、今後大変厳しくなることが予想される。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、東京オリンピック中止の議論が始まるのではないかと状況下で、支出を抑えるために儉約志向に走り、なおかつ買上点数を抑えている。

	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの状況に加え、天候も大変悪くなってきているため、来客数がなかなか伸びず、悪くなっていくとみている。
	×	コンビニ（エリア担当）	・このまま緊急事態宣言が長期化することにより、人の動きの鈍化が続き、ますます売上確保が難しい状況となると予想される。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・コロナ禍が落ち着くまで我慢するしかないと考えている。政府や行政も沈静化させることを第1に考え、経済を復旧させるのはその後として計画を立ててもらいたい。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・今以上に悪くなることは想像したくないが、5月まではこの状態が続くとみている。気温が上がり、感染症の広がりが全国的に落ち着くまでは我慢である。
	×	高級レストラン（経営者）	・コロナ禍が収束する見込みがないので、良くなることはない。
	×	一般レストラン（経営者）	・客も新型コロナウイルスの終息にあわせて出てくるのではないかとみているので、終息に全てが掛かっている。
	×	一般レストラン（経営者）	・年末辺りは新型コロナウイルスに慣れて人は出てきていたが、今回、時短要請が出たことで人々がまた出てこなくなっている。今後も現在の状況が続くのではないかと予想しているので、良くなることはあり得ない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの状況やGo Toキャンペーンの再開時期次第でどう変わるか分からないが、春までは低迷状態が続くとみている。
	×	旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言も2月7日で終わるとは思えず、先行きは更に不透明感が増している。このような状況下では旅行需要が増える要素は何もないため、かなり前から入っていた予約も今後の状況次第ではキャンセルになるとみている。
	×	通信会社（営業担当）	・冬の時期であり、新型コロナウイルスの感染者数が高止まりで推移し、緊急事態宣言が延長されることも予想されることから、向こう数か月は景気が悪くなっていくと考えている。
	×	設計事務所（経営者）	・設計業務は年度末に向けて大きな発注は見込めない。コロナ禍において、新規事業の先送りや中止が発生し、先行きが非常に不透明である。他社からは2年後、3年後の見通しどころか、半月後、3か月後の見通しすら立たないという話も聞かれ始めた。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業担当）	・季節が変わり新型コロナウイルスの感染者数が減少すれば、また観光の動きも始始め、徐々に回復してくるのではないかとみている。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体業界の景気上昇はしばらく続く見通しで、その影響が我々の景気に今後ますます反映されてくると考えられる。
	○	通信業（営業担当）	・年度末に向けて、来年度のテレワーク環境構築に向けたタブレットやPCの駆け込み需要が見込める。
	□	農林水産業（従業者）	・前年の果物農家の収入は、ももが前年比で2割ほど高くなったものの、りんごは2割ほど安く販売され、全体でならずと例年並みの収入になっている。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たなければ、現状から変化はないとみている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・受注増の情報が出てきているが半年先に増えるという情報なので、それまでの状況は不透明であり、直近、大きく改善する見込みはない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない。
	□	通信業（営業担当）	・客の反応は今後も厳しい状況が続くとみている。リモートに特化したサービス等で関係が切れないようつなぎとめるしかない。
	□	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルス感染症の状況次第だが、小売や飲食は現状程度の業況は維持できるものとみている。一方、春の観光シーズンまでに県外からの人の往来が劇的に復活するとは考えにくい。
	□	広告業協会（役員）	・春先に向けて新型コロナウイルスの感染が収束に向かえば、イベントも復活し、明るい兆しが見え始める。感染状況次第で広告市場はプラスにもなればマイナスにもなる。
	□	広告代理店（経営者）	・ワクチン接種はまだ先であり、東京オリンピック開催も怪しい状況で、好転するきっかけも見いだせない。

	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であり、見通しが立たない。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・全体としては軟調だが、新規分譲地の販売は堅調である。
	<input type="checkbox"/>	コピーサービス業（従業員）	・本来は年度末に向けて商談件数が増えていく時期だが、今年は年が明けても動きが鈍く、新型コロナウイルスの影響か、様子を見ている感じがある。本当に先がみえない状況である。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第である。ワクチン接種が進み一般の人が安心して生活できるようになれば、景気はおのずから上向くというふうにみている。
	<input type="checkbox"/>	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・原因となっている新型コロナウイルスの感染者数が大幅に改善する見通しが立たない。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔企画業〕（経営者）	・巣籠り生活の影響で白物家電の売行きが伸びているが、そうした高額商品に金が流れると、もっと高額な住宅という選択肢からは遠ざかってしまう。これが気掛かりである。
	<input type="checkbox"/>	その他企業〔協同組合〕（職員）	・受注残の日数が若干長くなりつつあるものの、同業他社との価格競争が激しい。加えて、超短納期の発注のために対応できない場面が多くなってきている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	・大雪により融雪剤等の出費が増えることが予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・飲食店関係を相手にする広告業者、代理店は業績が悪化している。イベント中止により印刷物の受注残は前年比で2割ほど落ちている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの影響で地域経済全体が停滞し、民間の設備投資も手控え傾向がみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・新年度へ期をまたいで契約する案件の受注が見込まれるものの、コロナ禍による民間投資減による受注量低下は避けられないと推測される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症のワクチン等が広く行き渡らない限り、景気が劇的に回復することはない。また、現時点で緊急事態宣言の解除時期も延長の可能性が高いことを考えると、この先の景気は現状よりやや悪くなるとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・緊急事態宣言が解除になり、ワクチンの接種が国民に実施されるまでは、景気回復は難しいとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者増加が収まるまでは、先が見通せない状況が続くとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・資金繰りに行き詰まり倒産、廃業の瀬戸際に追い込まれる事業者が増えるとみている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	公認会計士	・新型コロナウイルス感染症が落ち着くまで、少なくともあと2～3か月は景気悪化の傾向が続くとみている。その間は小売、飲食、サービス、建設関係の業績回復は難しい。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、先がみえない。この状況がいつまで続くか分からず、資金面も心配である。
雇用 関連 (東北)	<input checked="" type="checkbox"/>	-	-
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・今年度中に単独運営の外資系生保コールセンターで30名規模の定期増員を予定しているため、業績の腰折れ不安はなく、2～3か月先にも安心感がある。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス対策のワクチン接種の道筋が見えてきたため、一部で混乱はあるかもしれないが人の動きや消費マインドに明るい兆しが見えてくるとみている。年度替わりとも重なるため、地方においても期待感が膨らむ。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・パンデミックになって約1年がたとうとしているが、各企業とも様々な対応に取り組んで今に至っている。そういう意味では、新型コロナウイルスが終息しない限り、いろいろな工夫や打ち手を打ってきているなか大きな改善は見込めない。逆に今この現状で維持していることを考えると、大きな落ち込みもないとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・来期向けの募集求人の数次第にはなるが、特に大きな変化はないとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・現時点ではワクチン以外に新型コロナウイルス感染症に対応できる要素がないことから、まだまだ大きく変化することは考えにくい。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の動向が不透明である。また、一部製造業に求人の動きが始めているが、サービス業は依然厳しい状況が続いている。

□	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染者の増加に伴うGo Toキャンペーン停止に自粛ムードが追い打ちをかけ、デパート、流通、飲食、観光等を中心に大変厳しい状況が続いている。今後の情勢にもよるが、3か月先はもっと厳しい状況になるとみている。
□	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染の収束がみえない。
□	職業安定所 (職員)	・当面新型コロナウイルス感染症の影響は続くとみている。
□	学校 [専門学校]	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は悪くなっている。
▲	人材派遣会社 (社員)	・新型コロナウイルスの影響が大きく、政府からの雇用継続の要請が出ている。しかし、3月の派遣契約の延長なしに加え、求人数の動きが少ないこともあり、離職者が増える可能性が出てきている。
▲	職業安定所 (職員)	・新規求人、新規求職共に動きは弱い。2～3か月先に新型コロナウイルス感染症の拡大など悪化するきっかけは考えられるが、改善のきっかけは現時点では考えられない。
▲	職業安定所 (職員)	・助成金などを活用しながら、厳しいなかでも雇用を維持してきたものの、雇用調整を行わざるを得ないという事業所の情報が入ってきている。
▲	職業安定所 (職員)	・緊急事態宣言が2月7日で終わるのかどうか。
▲	職業安定所 (職員)	・前年の4～12月まで新規求人倍率、有効求人倍率共に前年比20%減の状況が続いている。しばらくこの傾向は続くとみている。
×	人材派遣会社 (社員)	・政府を含め、新型コロナウイルスに対して適切な対策が採られているようにはみえない。
×	アウトソーシング企業 (社員)	・明らかに自治体からの仕事が減っている。